


様式第1号 (第7条関係)

会 議 録

会議の名称	平成30年度 御宿町地域公共交通会議		
開催日時	平成30年6月25日(月) 13時30分 開会 14時25分 閉会		
開催場所	御宿町役場 中会議室		
会長氏名	石嶋 繁		
出席者氏名 (6名)	<ul style="list-style-type: none"> ・御宿町長 ・小湊鉄道株式会社業務課企画係長 ・住民又は利用者の代表 ・住民又は利用者の代表 ・小湊鉄道労働組合書記長 ・夷隅土木事務所長 	<ul style="list-style-type: none"> 石田 義廣 田中 雄一 石嶋 繁 堀川 賢治 古市 茂雄 大野 敏夫 	<ul style="list-style-type: none"> 委員 委員 委員 委員 委員 委員
欠席者氏名 (6名)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官 ・いすみ警察署交通課長 ・千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長 ・一般社団法人千葉県タクシー協会理事 ・一般社団法人千葉県バス協会専務理事 ・J R東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長 	<ul style="list-style-type: none"> 飯塚 孝廣 及川 竜昭 川俣 好彦 松本 眞 成田 斉 成田 誉紀 	<ul style="list-style-type: none"> 委員 委員 委員 委員 委員 委員
事務局氏名	御宿町企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> 課長 田邊 義博 主幹 市原 茂 係長 渡辺 純一 	
会議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会長及び副会長の選任について (2) デマンド交通乗合運行の利用状況について (3) 生活交通確保維持改善計画の合意について 3. その他 4. 閉会 	<p>会議結果 全議案原案のとおり可決</p>	
会議の経過	別紙		

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御宿町地域公共交通会議次第 ・資料1 御宿町乗合運行の利用状況 ・資料2 生活交通確保維持改善計画案 ・広報平成30年6月号 (P2～3抜粋) ・委員名簿
<p>その他必要事項</p>	
<p>会 議 録 の 確 定</p>	
<p>確 定 年 月 日</p>	<p>記 名 押 印</p>
<p>平成30年7月30日</p>	<p>会長 石 嶋 繁 </p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (市原)	<p>それでは定刻となりましたので、御宿町地域公共交通会議を開催させていただきます。本日はみなさまお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。私は御宿町地域公共交通会議事務局の企画財政課市原と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、任期満了による委員の交代がありましたので、石田町長より委嘱状をお渡ししたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>(石田町長より出席委員に委嘱状が交付される)</p> <p>本日もご出席いただいております委員の方々を名簿の上段からご紹介させていただきたいと思います。はじめに、御宿町長 石田義廣様、次に小湊鉄道株式会社 田中様、田中様は事情により少し遅れていらっしゃるということです。続きまして、住民代表 石嶋繁様、住民代表 堀川賢治様、小湊鉄道労働組合書記長 古市茂様、夷隅土木事務所長 大野俊夫様、引き続きまして事務局の紹介をさせていただきたいと思います。企画財政課長の田邊です。同じく企画財政課係長の渡辺です。私は企画財政課の市原です。それから保健福祉課長の渡辺です。保健福祉課主幹の伊藤です。よろしくお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議の成立要件ですが、現在5名ということですが、田中様が少し遅れていらっしゃるようなので、6名ということで、半数以上の出席をいただいておりますので会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>それでは議題1、会長及び副会長の選任についてです。御宿町地域公共交通会議設置要綱第5条に、「会長は委員の互選により定める」と規定されており、選任まで石田町長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
石田町長	<p>ただいま事務局より指名がありましたのでしばらくの間進行を努めさせていただきます。議題1、会長及び副会長の選任について、委員の皆さまからご意見がありましたら承りたいと思います。意見ございませんか。事務局からありますか。</p>
事務局 (田邊課長)	<p>はい。会長につきましては、住民代表であります石嶋委員が適</p>

<p>石田町長</p>	<p>任かと思しますので推薦させていただきます。</p> <p>会長に石嶋委員を推薦する意見が出されました。事務局からの提案にご賛同いただけましたら、拍手を持って承認とさせていただきます。いかがでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>異議なしとのことですので、石嶋委員に会長をお願いしたいと思います。それでは石嶋会長、委員長席にお移りください。</p> <p>会長が選任されましたので、副会長の選任は会長にお願いしたいと思います。ご協力いただきありがとうございます。</p>
<p>石嶋会長</p>	<p>ただいま選任いただきました石嶋と申します。よろしくお願いたします。本会議では、地域公共交通エビアミー号、これが地域の皆さんに親しまれ、より多く利用される交通手段となることを目指して取り組んでいきたいと思ひます。豊富な専門的知識をお持ちの皆さんのご助言をいただきまして、よりよい交通手段となるよう努めていきたいと思ひますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、副会長の選任についてお諮りしたいと思います。要綱第5条第1項により、会長が指名させていただきますと存じます。副会長には住民代表の堀川委員を指名させていただきますと思ひます。ご賛同いただけましたら拍手を持って承認といたします。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。異議なしということですので、堀川委員に副会長をお願いしたいと思います。それでは席の移動をお願いします。</p>
<p>堀川副会長</p>	<p>ただいまご指名をいただきました堀川と申します。何年かこの会議に参加をさせていただいております。この会議は、住民の足の問題、御宿町は高齢化が進んでいますので日常生活には欠かせ</p>

	<p>ない足の問題の会議でございますので、会長を支えていい会議になるように、努力してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
石嶋会長	<p>それでは議題2のほうに移りたいと思います。議題2、デマンド交通乗合運行の利用状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (渡辺)	<p>事務局の渡辺でございます。お手元にお配りしました資料の1-1をご覧ください。こちらは乗合運行エビアミー号の利用者数の推移でございます。青色の棒グラフが3期、こちらが平成28年10月から平成29年9月までの利用者数、それからオレンジ色の棒グラフ、こちらが平成29年10月から平成30年9月までの利用者数です。現在5月までの実績しかございませんのでオレンジ色の棒グラフは5月までの表記となっています。下記に書いてありますとおり、月毎の傾向といたしましては、1月や2月の利用者が少なく、夏から秋にかけての利用者が多い傾向となっています。第4期も変わりはありません。平成29年5月は412人となっております。その前年同月が417人で、5人減っております。その月から現在まで、前年同月比較が減少した状況が続いております。特に平成29年11月は、第2期が449人、第3期が322人で、127人減っております。ちなみに平成29年10月から平成30年5月まで月平均マイナス74人となっています。減っている要因はいろいろと考えられますが、分析を含めましてもう少しばらつきをみてきたいと考えております。それから、第3期の延べ利用者数が4,789人、1日平均13.3人、第4期については5月までですが、延べ利用者数2,581人、1日平均10.8人となっております。資料1-1の説明を終わります。</p> <p>資料1-2でございます。こちらは、乗合運行エビアミー号の運賃等の収入の推移でございます。先ほどと同じように青色の棒グラフが平成28年10月平成29年9月まで、オレンジ色の棒グラフが平成29年10月から平成30年5月までとなっています。第3期</p>

の合計収入額が133万900円、第4期が5月までで71万8,100円となっています。第3期の月平均は11万908円、第4期の5月までの月平均が8万9,763円となっています。ちなみに第2期の収入額は134万1,000円でした。こちらも利用者数の推移に比例して1月、2月が少なく、夏から秋にかけて多い状況です。

資料1-3 利用状況その1について説明させていただきます。これは乗客数とそのうち小学生と障害者の内訳、それから運賃収入のうち回数券収入などの状況を示したものです。先ほどの資料1-1、1-2はこれらの数値をグラフ化したものです。上段は平成26年10月の運行開始から1年ごとの利用者数、運賃収入、回数券収入の推移です。それから中段「29 補助」の表をご覧くださいと、平成28年10月から月ごとの乗客数、前年同月比較、うち小学生以下、うち障害者、運賃収入、回数券販売(車内)、回数券販売(公民館)、回数券販売(役場)、回数券販売合計、収入合計でございます。下段ですが、「30 補助」は、平成29年10月から平成30年5月までの状況をまとめたものです。資料1-3の説明を終わります。

資料1-4、利用状況その2です。これは①時間別、②利用者地域別、③目的地別に、平成29年10月から平成30年5月まで統計したものです。①時間別集計では、「第6便(12時30分)」が507人、「第4便(10時30分)」が452人と多くなっています。②利用者地域別集計では、「御宿台地区」が1,441人、「上布施」が487人、「実谷」が307人、この3地区で全利用者の86.6%を占めています。「御宿台」が55.8%、「上布施」が18.9%、「実谷」が11.9%となっています。③目的地別集計は、自宅から各共通乗降場所への利用者集計です。共通乗降場所間の移動や共通乗降場所から自宅への移動や含まれておりません。1番多いのは「御宿駅」で448人、2番目が「第二分団消防庫」で341人、ここはスーパーおおたやの最寄りでございます。3番目が「御宿郵便局」で226人、これら3箇所が多い状況です。ここで一つ資料の訂正がございます。認定こども園の合計欄が0人となっていますが、2人の誤りです。また総合計の欄が1,372人とありますが、1,374人となります。以

<p>石嶋会長</p>	<p>上で議題 2 乗合運行エビアミー号の利用状況について説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。今の説明に対しまして何か質問はございますか。</p>
<p>堀川副会長</p>	<p>よろしいですか。第 3 期から第 4 期にかけてだいぶ減っていますが、何か原因はあるのですか。</p>
<p>事務局 (田邊課長)</p>	<p>はい。詳しいところは分析の最中というところが正直なところ です。平成 29 年の 8 月に運行ダイヤを改正いたしました。以前は 8 時から運行を始めていたのですが、30 分前倒しをしました。そ の結果、利用者が減ったということがございます。目的地別集計 ですと御宿駅が一番多いということで、電車のダイヤに合うよう に変更したのですが、そこが裏目に出たことが考えられます。こ れについては平成 29 年 8 月から 1 年間様子を見させていただきま して、何か対策を考えたいと思います。目的地集計をご覧になっ てお分かりのとおり、次の時間が決まっている場所は駅だけでご ざいますので、電車のダイヤに合うように乗合運行も改正をした ところですが、この点について数件のクレームをいただいたところ ですが、反対に使いやすくなったというご意見もありますので、 町としては良かったのか悪かったのか悩むところですが、実際に 利用者数は減少しております。</p>
<p>堀川副会長</p>	<p>これから高齢化が進みますし、免許の返納も進むと思います。 そうすると本来利用者は増えていかなきゃならないと思いき ますが、毎月減っていますね。何か原因があるのではないかと 資料 1-4 で 7 時 30 分、これを作ったことがどういう風に影響しているか つかみづらいですね、これはアンケートしないとわからないです。 これが原因なのか、あるいは他に原因があるのか。これから高齢 化が進みますし、必ず公共交通が必要で皆さんそれをうったえて いるわけです。このまま放っておくわけいかないですよね。</p>

事務局（田邊課長）	<p>今ご意見ありましたとおり、アンケートも必要なのかなと思っております。またあと一点が、もともとご高齢の方がお使いになっておりましたので、介護の方がいないと乗合運行の利用すらできない方もおりましたので、そういう方が介護のほうにシフトしてしまったという影響もあるのかなと思います。しかしおっしゃるとおりははっきりしたところをつかんでおりませんので、今後アンケート等で原因を追究していきたいと思えます。</p>
堀川副会長	<p>これは一般住民の要望として申し上げるのですが、駅利用が多いということは、その先に目的地があるということです。病院であったり、都市部に買い物に行ったり。これは前から出ていたことですが、ダイヤ改正したことによって、7時30分の時間帯はいいのだけれども、帰りの時間帯が合わなくなったと。こういう問題が起きているので、これをどうするのか。なかなか難しい問題だとは思いますが、それで一時、苦情めいた意見も出たわけです。</p> <p>それからオペレーターの件でもいろいろ意見がありましたが、最近では改善されているようです。そういうところが改善しながら利用者が減っているということはやはり何か原因があるのだと思いますが、大きな原因は突き詰められてないですか。</p>
事務局（田邊課長）	<p>はっきりしたところは今のところわかりません。</p>
堀川副会長	<p>難しい面があるとは思いますが、場合によっては区長会に諮るなどして現場の状況をつかんでみてはどうですか。</p>
事務局（田邊課長）	<p>原因の究明につきましては引き続き進めてまいりたいと思えます。もう1点ですが、このデマンド交通に登録だけしているのですが、使い方がわからないという方がおまして、うちの係長が近所のご老人数人がいらっしゃるところに伺いまして、使い方などをレクチャーしたりしました。そういう方もいらっしゃるので、</p>

堀川副会長	<p>例えば地区ごとの老人クラブに出向いて利用者の底上げを図っていくことも考えております。</p> <p>議員として申し上げますが、使い方が難しいというのが一つあります。もう一つは、今まで御宿台では決まったルートを定時運行していたので、時間の予定も立てやすく予約する必要がなくて便利だった、という意見もあります。その反対に、現在は玄関まで来てくれるから便利になった、という意見もあるわけです。例えば、デマンドと定期運行便を組み合わせて実施できるか、これにはコストがかかりますので簡単にできる話ではないですが、先ほど事務局からもありましたが使い方がわからない方もいると。何か手を打っていかないとこのままズルズルと行ってしまいます。</p>
事務局（田邊課長）	<p>定時運行につきましては、このデマンドを構築するときに議論がされたところですが、近隣市町で定時運行している例をみますと、空気を運んでいる状況だと、これは無駄ではないか、ということで、デマンドであれば予約がなければ車は動かないわけですし、このほうが効率的ではないかということでこの方式にしました。とはいえ減少傾向となっておりますが、最初の見込みとしましては、しだいに利用者が増えてきて、車両も1台から2台にしていこうじゃないかという計画だったのですが、その辺は難しくなっているところです。また、定時運行できないかということですが、今後必要に応じてこの会議で議論いただきまして対応を図っていきたいと考えます。</p>
石嶋会長	<p>他にご意見ございませんか。ないようでしたら議題の(3)にいきたいと思います。生活交通確保維持改善計画の合意について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局（渡辺）	<p>はい。それでは議題の(3)について説明いたします。資料の2をご覧ください。この生活交通確保維持改善計画でございますがこれは国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業補助金を申請</p>

するために、本会議での合意が必要でございますので、議題としてあげさせていただいているものです。資料2の1ページをご覧ください。主なところだけ説明させていただきますが、1の地域公共交通確保維持事業に係る目的及び必要性、これはこれまでと変わりはありません。記述内容です。高齢化率が高いことから自家用車やタクシーでの移動が多い状況ですが、自家用車で移動されてきた方々が免許を返納され、車以外の移動手段に対するニーズが高くなってございまして、地域公共交通の維持が大きな課題となっています。このため、地域公共交通確保維持事業補助金を活用することにより、町内全域をカバーする10人乗り車両を使った乗合運行を平成26年10月から実施してきました。引き続き補助金を活用して交通手段を確保していくことが必要であることを記しています。

それから2番の地域公共交通確保維持事業の定量的な目標及び効果、(1)事業の目標でございます。平成31年度の目標は、1日あたり15人、延べ利用者数を大人5,000人、こども30人、合計5,030人とするものです。先ほどお話がありましたが、利用の登録をしながらも利用していない方へ、利用方法などの周知を図りまして、目標の達成に取り組んでまいります。ここではこのほか、①から④の事業目標を掲げています。①が、主要な公共施設をはじめ、商店や医療施設へアクセスできる公共サービスを提供すること、②が、民間バス(幹線を走るバス)及びJRといった幹線交通軸に接続する公共交通サービスを確保すること、③が、徒歩では移動が困難な交通不便地域の解消を図ること、④は、サービスの水準は、民間タクシーより低く、民間バスより高くを原則とするものです。

次に下段の3、2の目標を達成するために行う事業及びその実施主体です。上から3件までは以前と同様で、4つ目は新たな取り組みです。後ほどご説明しますが、本日から、車両の位置情報配信サービスを導入しています。これによりさらなる利便性向上に努めてまいります。

次ページです。5、地域公共交通確保維持事業に要する費用の

	<p>負担者ですが、御宿町から小湊鉄道への運行経費負担分は、運行収入及び国庫補助金相当分を差し引いた差額分の負担となっています。</p> <p>次に13の車両の取得に係る目的・必要性ですが、今月から車両が更新されていますが、定員11人以上の場合は国庫補助の対象となりますが、10人以下では補助対象となりませんので、ここでは該当なしとしています。</p> <p>17、協議会の開催状況と主な議論ですが、これは別添の任意様式1にその内容を示してあります。</p> <p>18、利用者等の意見の反映状況、これは任意様式2に示してあります。今回追加しましたのは、平成30年6月の項目で、車両の位置情報配信サービスを導入して利便性の向上を図った旨を記載しています。</p> <p>以上で議題2（3）生活交通確保維持改善計画の合意についての説明を終わります。</p> <p>石嶋会長 ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご質問ありますか。</p> <p>堀川副会長 よろしいでしょうか。車両の位置情報配信サービスというのは具体的にどのようなものでしょうか。</p> <p>事務局（渡辺） はい。A3資料の広報6月号抜粋をご覧ください。これは本日発行しています広報誌です。位置情報配信サービスは、スマートフォンやパソコンで、現在、エビアミー号がどこを走っているかが誰でもわかるシステムで、本日から運用しています。これは車両にGPS端末を搭載しまして、その位置情報を委託会社が作成するウェブ上の地図に表示し、それを利用者がインターネットで見るといったものです。これによりまして、思った時間に車両が来ないなどの不安を解消したり、待ち時間の有効活用を図ったりしていただけるものと考えています。</p>
--	---

堀川副会長	<p>そうすると、スマートフォンを持っていないと情報は得られないということですね。</p>
事務局（田邊課長）	<p>これはですね、いつ来るかわからないのでトイレに行きたいのに待ってなきゃいけないので困るという声がありましたので、ある程度の目安になるようにというものですけれども、これだけではなくて企画財政課は買い物支援も業務にしております、スマートフォンを使つての商品の注文方法をコープとかがやっていますので、スマートフォンの普及にも努めたいとも思っています。また、御宿町は街中に光ファイバーを入れていまして、その加入者数も増やしていきたいと思っています。お年寄りだからこういうデバイスを使えないということではなくて、お年寄りだからこそこういうものを使っていたきたいなと思っておりますので、そのあたりの普及を兼ねての取り組みとなっております。また、千葉工業大学からの譲渡いただくタブレット端末を買い物支援などにも使つてはどうかとの意見もいただいておりますので、この件と合わせていろいろ仕掛けを作っていくところです。例えば無料通話アプリのラインですと、町からお知らせなどを出したときに、メッセージを見ると既読マークがつかますので安否確認にもなると思います。このような施策を考えている中での一環としてこのようなサービスを始めさせていただいたところです。</p>
堀川副会長	<p>はい、わかりました。</p>
石嶋会長	<p>他に意見はございますか。 特にないようでしたらその他に移りたいと思います。事務局ありますか。</p>
事務局（渡辺）	<p>はい。その他としまして、位置情報配信サービスの開始につきましては先ほど申し上げたとおりでございます。本日の広報で住民の皆さまへ周知させていただいております。その他、ホームページや車両の中でも利用者に周知を図っていきたいと思います。</p>

	<p>もう一点が、②の車両が更新されたことについてです。先ほどの広報紙のコピーをご覧ください。6月1日から小湊鉄道さんが運行しております車両が新しく更新されまして、これには自動乗降ステップが装備されています。今までは運転手が外に出て踏み台を置いて乗り降りを支援していました。この踏み台では安定感がなかったので自動ステップになって非常に安心感があるという声がいただいています。もう一つ、乗降スライドドアが自動となりました。今までは運転手または利用者が手動で開けていました。この2点の改良で、今後はより快適にご利用いただけるものと思っています。</p>
石嶋会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に関しましてご質問ございますか。特にないようでございます。</p>
石田委員	<p>すみません私から一点申し上げたいと思います。私の立場で申し上げるのもどうかと思いますが、先般1月に公民館で町民懇談会をやったのですが、数名の方からご意見いただきまして、先ほど堀川委員もおっしゃられたように、非常に高齢化率が高い中で、地域公共交通を希望する方が多くて、その利便性を高めてもらいたいということです。先ほど田邊課長からもありましたが、状況によっては便数を増やしたり車両を増やしたりということも検討していくのだろうと思います。具体的には上布施地区の一人住まいの方ですが、この方は正月用の買い物をしたかったようなのですが、このエビアミー号は12月29日から1月3日は運行していません。他の市町村と比べますと、御宿町は土日も出ていますから、住民の足として便利な部分ではあるのですが、ぜひこの年末年始の6日間、そのすべてとは言いませんけれども、1日か2日でも年末の買い物に使えるように増やすことができればいいなと思っています。契約とかいろいろあると思いますが、運転手とか配車の体制が可能であればぜひ検討をお願いしたいと思っています。</p>

<p>田中委員（小湊鉄道）</p>	<p>はい、たしかにこの外房地区というのは会社のほうでも間引きダイヤでやっております、ただですね、年末年始も通常どおり営業している店も多いというところで、管轄は違うのですが、千葉市内ではこれまで運休していた便を休日ダイヤで動かすなど徐々にやってきたというところ。対して外房地区は住民が少ないということもあるのですが、なかなかそのような動きが進んでいないという状況です。ただ会社としては年末年始もできるだけ、休日ダイヤなどにはなるのですが、走らせる方向では考えているところです。運転手の人員の状況なども実はございまして、なかなか普段まとめて休みが取ることができなく、また、休日出勤も多いものですから、年末年始はまとめて休みが取れる期間でもあります。ただ年末年始の運行の要望もありますので、社内でも運転手にできるだけやってほしいとお願いして、徐々に増やしているところです。なので、一気に6日増やすのはこのような状況もございまして難しいところですが、例えば1日だけとか、そのような検討を、あと半年ありますのでさせていただきたいと思っております。</p>
<p>石田委員</p>	<p>ぜひご検討をお願いします。</p>
<p>石嶋会長</p>	<p>よろしいでしょうか。 それでは本日議題はすべて終了しました。どうもありがとうございました。</p>

(会議経過)

会議の名称 御宿町地域公共交通会議

開催日時 平成30年6月25日(月) 13時30分

出欠席者名簿

委員氏名	出欠等	委員氏名	出欠等
会長 石嶋 繁	○	委員 川俣 好彦	×
副会長 堀川 賢治	○	委員 松本 眞	×
委員 石田 義廣	○	委員 成田 斉	×
委員 田中 雄一	○	委員 成田 誉紀	×
委員 飯塚 孝廣	×	委員	
委員 古市 茂雄	○	委員	
委員 大野 敏夫	○	委員	
委員 及川 竜昭	×	委員	

(敬称略)

出席6名 ・ 欠席6名

凡例 ○出席 ×欠席